

計画に関する石狩市地域自立支援協議会からの意見

令和5年6月19日開催の石狩市地域自立支援協議会計画ワーキンググループにおいて、第4期障がい者計画中間見直しのための進捗状況評価報告を報告した際に意見があった項目は次のとおりとなります。

- 意見総数8件

No.	意見の概要	回答内容
1	資料5の7ページ施策の方向5「親亡き後支援の充実」②地域生活拠点整備の整備は必須なのか。何をもって整備の達成となるか？	地域生活拠点整備は、多機能拠点整備型と面的整備の2種類ある。多機能拠点整備型は、一つの拠点で全ての機能を担うかたち、面的整備は、市内の各事業所が各機能について連携をして支援していくかたち。何をもって達成となるかは、きちんと運用できているかどうかになる。要綱制定等の準備も必要だが、拠点について市民に周知をして、必要な時に支援につながるようにしなくてはならない。市内事業所の方とも意見交換をしながら進めていきたい。
2	○資料5の9ページ施策の方向3「障がいのある子どもに対する教育の充実」①の評価で「連携を図った」としているが、具体的にはどこの機関との連携なのか？ ○情報を聞かれてもその後のフィードバックがないなど本当に連携がなされているのか疑問に思うこともある。	○認定こども園のほか、事業所、子ども発達支援センター、医療機関などとの連携もしている。教育支援課が認定こども園等を訪問して実際の様子を確認するなどを行い、学びの場がどこが良いのか検討を行っていく。

No.	意見の概要	回答内容
3	<p>資料5の11ページ施策の方向3「就労支援と雇用促進」②の就労フォローアップ事業について内容を教えてほしい。障害福祉サービスの支給期間の延長とは違うのか？また、対象事業の拡大等の予定はあるか？</p>	<p>障害福祉サービスにある就労定着支援の3年間を終えても、なお支援が必要な方が対象。支給決定期間の延長ではなく、市の事業として実施している。</p> <p>対象の拡大は現時点では考えていない。</p>
4	<p>地域自立支援協議会に関する項目で、資料5の6ページ施策の方向4「権利擁護の充実」①と12ページ施策の方向4「保健と福祉の充実」①の記載内容の確認をしたい。メリデン版訪問家族支援とTS(トラブルシューター)に関して、今後についてもこのテーマで行うのか、この要素を包含した取り組みとして進めるのかどちらか？</p> <p>・質問の補足:メリデン版訪問家族支援に限定すると医師の許可が必要などのしぼりが出てくる。「家族支援」として考えていった方が幅も広がると思う。その中に「メリデン版訪問家族支援」という手法もある、という形がいいのではないか。</p>	<p>資料5の令和4年度実績としてはメリデン版訪問家族支援の言葉を入れているが、今後の方針としては、補足のお話の通りと考えている。TS(トラブルシューター)についても同様。その考えのものと記載だったが、策定委員会ではわかりやすくご説明するか、資料に記載する。</p>
5	<p>メリデン型訪問家族支援もTS(トラブルシューター)も8050支援にもつながるととても良い活動だと思う。取り組みについて、8050家庭を支えていくため、実効性のあるものにしていく必要がある。</p>	<p>ご意見を承る。</p>
6	<p>資料5の15ページ、施策の方向6「人材育成・確保」③の項目で、小学校・中学校・高等学校と掲載されているが、藤女子大学を含むお考えはあるか？</p>	<p>市と藤女子大学は、連携に関する包括協定を結んでいるので、例えば、学生に障がい福祉分野のイベントに参画していただくなどは考えられる。</p> <p>見直しに関することになるので、地域自立支援協議会からの意見して策定委員会で検討させていただく。</p>

No.	意見の概要	回答内容
7	<p>札幌などの学校で、事業所等での受け入れだけではなく、学校等に現場の事業所等職員が講師として赴き、講義をするというかたちもある。計画掲載内容の表記として、「体験の機会」を「体験の機会など」にすると手法の幅が広がるのではないか。</p> <p>※そのほか関連のご意見として、事業所個別に学校等から依頼があり、実習生の受け入れ等行っている、以前道社協でその調整をしていたことがある。市が関わるのも良いと思う、との意見もあった。</p>	<p>地域自立支援協議会からの意見として策定委員会で検討させていただきます。</p>
8	<p>メリデン版訪問家族支援について事業の中で実施しているが支給期間終了後もフォローが必要な方もいる。また、障害福祉サービスにつながる前の方、医療にしかつながない方、母親だけが支えている方もいる、サービス前に関われば良い。フォローアップと前段階の支援両方あるといいのではないか。</p>	<p>サービスにつながる前の支援などについては、相談事業所の関わりも可能だと考えている。</p>